

審査基準

下表の基準に従って審査員が、企画提案書等について評価の視点をもとに評価したものを審査点（１００点満点）とする。最終的に各審査員の審査点を合計して総合点を算出し、最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、順位決定を行う際に、同位の企画提案書等が複数ある場合は、審査員全員の多数決により順位を決定する。

なお、審査員の１名以上が内容点の評価項目のうち１項目でも評価点２点未満とした場合（⑨を除く）、又は審査点が４０点未満の場合は失格とする。

計 100 点

評価項目			評価の視点	配点
業務 遂行 能力 (20)	本事業の目的に対する基本的な考え方・スケジュール		① ・本業務の背景や目的について正しく理解しており、現実的な事業実施スケジュールについて記載されているか。	5 点(評価点) ×2=10 点
	本業務の実施体制		② ・プロジェクトチームの編成、人員等、十分な能力と経験を有する者が配置され、業務を円滑に進める体制が確保されているか。	5 点(評価点) ×1=5 点
	類似事業の実績		③ ・過去の類似事業の実績やノウハウについて、業務遂行に活かすことが期待できるか。	5 点(評価点) ×1=5 点
企画 提案 内容 (75)	企画 内容	業務の理解度	④ ・企画提案内容について、本業務の趣旨・目的を正しく理解し、その目的に沿った的確な企画コンセプトが示されているか。	5 点(評価点) ×3=15 点
		必要な情報の把握・整理等の方法	⑤ ・基本方針（案）の取りまとめに必要な情報の把握・整理等の方法は、現実的で有効なものとなっているか。	5 点(評価点) ×3=15 点
		基本方針（案）の策定方針	⑥ ・基本方針（案）の策定方針は、事業の目的を達成するに当たって、現実的で有効なものとなっているか。	5 点(評価点) ×3=15 点
		富士トラムの活用可能性に関する検討方法	⑦ ・富士トラムの活用可能性に関する検討方法は、事業の目的を達成するに当たって、現実的で有効なものとなっているか。	5 点(評価点) ×3=15 点
		公共交通網再編に向けた実証事業の検討方法	⑧ ・公共交通網再編に向けた実証事業の検討方法は、事業の目的を達成するに当たって、現実的で有効なものとなっているか。	5 点(評価点) ×3=15 点
価格点 (5)	見積額		⑨ ・見積額（消費税及び地方消費税を含む）は安価であるか。 5 点×参加者中の最低見積額／参加者の見積額	5 点(評価点) ×1=5 点